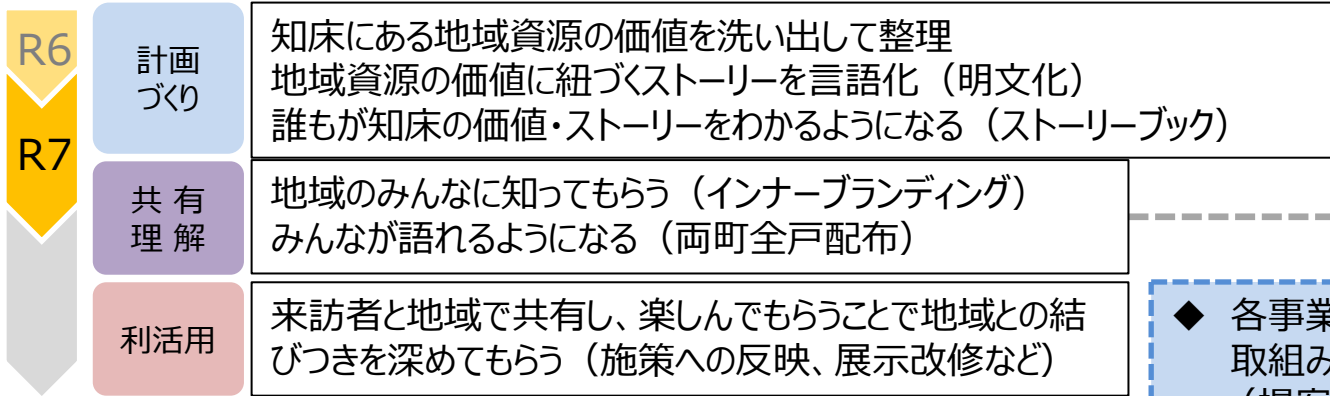
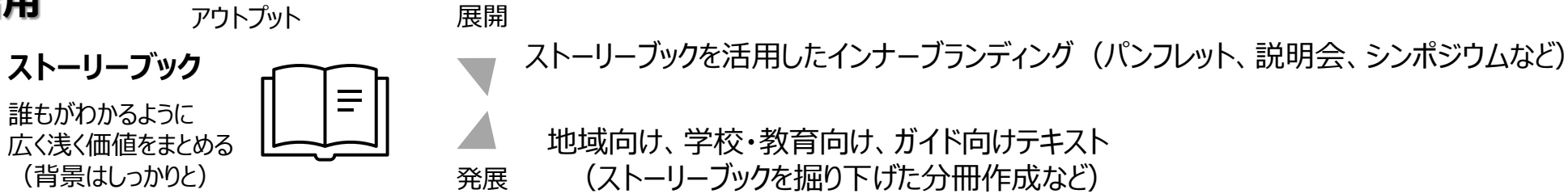


今後の予定



◆ 各事業者や地域団体の自主的な取組みや活用への伴走（提案制度の活用など）

利活用



	短期（～1年）	中期（～5年）	長期（～10年）
環境省	ストーリーブック(IP全体計画)作成 知床エコツーリズム戦略への反映 環境省補助金等を活用した各種事業の実施 ・国立公園冊子作製 （地元小学生への無料配布・道内図書館へ寄贈） ・国立公園YouTube動画作成（VCで上映検討）	ストーリーブックの全戸配布 地域への理解促進の機会設定 国立公園・世界自然遺産地域の各種計画への反映 羅臼VC映像更新 ストーリーブック改訂や分冊作成	インタープリター育成支援
各事業者	観光庁補助金※を活用した各種事業の実施	事業者からIP全体計画に沿った事業の取組みが始まる ・地域の人材育成のテキスト ・新たな観光コンテンツ造成（提案制度の活用） ・地域の魅力の情報発信力の強化 など	事業者にも価値の共有化がはかられ協力や連携が進む

※知床IPは観光庁事業と一緒に取り組んでおり、その成果（知床の価値やストーリー）に沿った事業であれば、観光庁補助金事業に採択するときの判断基準になる。

・YouTubeコンテンツ製作

「環境省 日本の国立公園」チャンネルにて知床国立公園の紹介動画を公開
テーマは「広大な自然の中で生きる野生動物と人との共生」
ビジターセンター等での放映も検討中
→使用用途によっては町や観光協会へのデータ提供も可





IP全体計画の課題共有

課題

作成後の活用と見直し

- ・地域関係者の理解と参画
- ・利活用の促進
- ・計画の見直し作業（メンテナンス）

各種計画との関係性の整理

- ・既存計画（法定計画や施策の計画）との関係性の整理
- ・公園計画や管理運営計画との連携強化

既存計画との関係性の例

- ▶ IP全体計画と遺産管理計画及び知床エコツーリズム戦略との関係性

